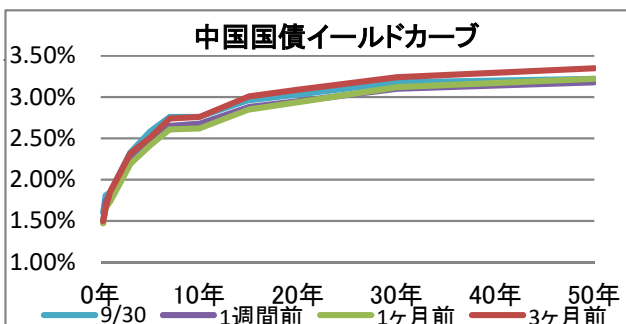
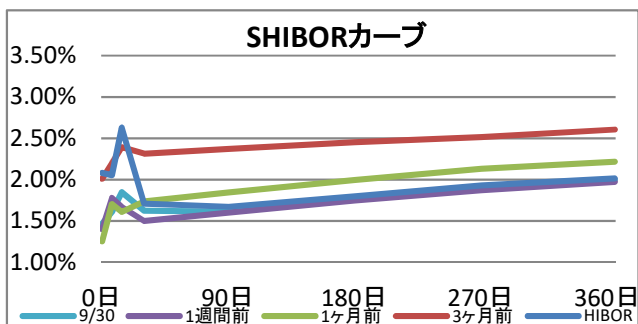


基準レート		2022/9/30	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.0998	+0.1078
	JPY/CNY	4.9276	-0.0296
SHIBOR	3M	1.6730%	+0.0610%
国債利回り	10年	2.76%	+0.08%
上海総合指数		3,024.39	-63.98



(1) 概況

国際金融市場では、前週の米FOMCとその後のFRB高官のタカ派発言に加え、英トラスショックにより市場の不安心理が一気に高まり、債券、株式が続落となる弱気相場。10年債利回りは英国で4.5%、米国で4%近辺まで上昇したものの、BOEが国債買入れを決めるとやや落ち着きを取り戻したが、上値の重い展開が続いている。

中国金融市場でも、共産党大会を控えた国慶節連休前の四半期末に向け、中国人民銀行が積極的な資金供給や不動産市場支援策、人民元安率制等を積極化したことから市場は概ね安定していたものの、連休を前に株式市場、債券市場ともに積極的な買いが入り難く上値の重い展開。外為市場では、一時2008年来となる7.25まで元安が進んだものの、月末ドル需要の一服と当局の元安率制により7.1台に戻している。

中国では、李総理が、経済政策担当部署を集めた会議では第3四半期の景気回復が小幅に止まったことを受けた第4四半期経済政策運営の重要性を、建国73周年祝賀行事でも改革開放方針の堅持と景気回復への取り組みへの注力を強調。中国人民銀行は、銀行の設備更新貸出に対する再貸出制度（2000億元超を）開始し、住宅積立制度貸付金利の0.15%の引き下げや、銀保監会と新築住宅価格の下落が続く都市等での初回住宅取得者に対する住宅貸出の下限金利の取消しを含む引き下げによる住宅需要喚起策を決定。また、外為市場の安定を目的に、銀行の先物為替予約業務における外貨リスク管理準備金の20%（現状0%）への引上げに加え、外為市場自主規制団体とのテレビ会議では投機的な動きを牽制している。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、国慶節の長期休暇を伴う四半期末となる9月末に向け、リバースオペ期日100億元に対し、新規リバースオペ8,780億元（7日物5,210億元、14日物3,570億元）を実施し、ネットで8,680億元を供給。

(3) 主な経済指標

- ・ 国家統計局のPMI (9月) は、製造業が50.1%（8月、49.4%）、非製造業が50.6%（同、52.6%）、総合は50.9%（同、51.7%）と、猛暑の影響が緩和した製造業で3ヶ月振りに50%を回復したが、非製造業はコロナ感染再拡大の影響や外需の減退による低下傾向が続いている。
- ・ 財新製造業PMI (9月) は、48.1（8月、49.5）と50を下回る水準で一段と低下。コロナ感染再拡大の影響に加え、外需の減少が続き、生産と雇用が一段と悪化。
- ・ 工業企業利益 (1-8月) は前年同期比-2.1%（1-7月、同-1.1%）とマイナス幅を拡大。特に、外資系企業や民営企業の減益幅が大きく、不動産市場低迷に加え、コロナ再拡大等による需要不足が影響した模様。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.0810%	2.0500%	2.0200%	
1W	2.0550%	2.1000%	2.1000%	
2W	2.6300%	2.6000%	3.0000%	
1M	1.7110%	2.3000%	2.3000%	2.1000%
3M	1.6730%	4.6000%		1.9000%
6M	1.8000%	2.5000%		1.9300%
9M	1.9310%			1.9900%
12M	2.0160%			2.0100%

四半期末となる9月末に向けて短期の金利水準がやや高まったものの、中国人民銀行の積極的な資金供給により混乱なく連休を迎えている。ターム物は1ヶ月が2%台で出合っている以外は限定的。

NCDも、四半期末越えとなる1ヶ月が2%台で取引され、年末越えとなる期間が1.9%台で取引されている。ターム物は9月末越えの1ヶ月が2.0%前後（10月スタートは1.7%前後）、年末越えとなる3ヶ月は1.90%前後、6ヶ月が1.95%前後、1年が2.0%前後で取引されている。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	3.05%	3.06%
1W	3.10%	3.15%
1M	3.25%	3.30%
3M	3.80%	3.90%
6M	4.10%	4.20%
12M	4.40%	4.60%

FRB高官のタカ派発言が続いたものの、中国国内市場では連休を控えていることもあり、ターム物の金利水準に大きな変化はなく、9月末越えの短期取引が中心。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.60%		1.71%	1.76%	1.94%
6M	1.81%		1.98%	2.02%	2.21%
1Y	1.85%	2.02%	2.10%	2.16%	2.41%
3Y	2.33%	2.50%	2.53%	2.66%	3.06%
5Y	2.58%	2.70%	2.91%	2.99%	3.66%
10Y	2.76%	2.98%	3.24%	3.42%	4.18%

債券市場では、経済先行き懸念はあるものの、連休前の四半期末を控えて積極的な買いが入りにくい中、国際的な長期金利の急上昇と人民元安を背景に小幅続落（利回り上昇）となった。米国債利回りはFRB高官のタカ派発言と英トラスショックにより上昇を続けており、10年米国債利回り（3.83%、+15bp）の中国国債利回り（2.76%、+8bp）の上回り幅は+107BP（前週+7bp）に拡大している。

イールドカーブは、四半期末要因による短期の利回り上昇が続く中、中長期利回りの上昇は小幅に止まっていることからフラットニングが続いている。クレジットスプレッドは利率債利回りの上昇により一段と縮小している。

④先物為替市場

	USD / CNY
1M	-91.0 / -89.0
3M	-305.0 / -300.0
6M	-714.0 / -709.0
9M	-1155.0 / -1150.0
12M	-1600.0 / -1590.0

対ドル基準レートは7.0998と前週末比+1078pipsのドル高元安、対円基準レートは4.9276と同-296pipsの円安元高と、対ドルでは市場での急激なドル高を牽制する格好の元高設定が続いている。中国国内市場では、中国人民銀行が外貨リスク準備金（20%）の再導入を決め、業界団体を通じて市場参加者に対して投機的取引を牽制し、基準値設定におけるカウンターシクリカル要素再導入や国慶節連休中の急激な変動に備えて大手銀行にオフショア市場でのドル売り準備を指示した等の報道もあり、一時2008年以来となる7.25前後まで元安が進んでいたものの、7.1台に戻して連休入り。

先物は、ドル金利上昇懸念からマイナス幅が一段と拡大しており、-1600まで低下している。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.85%		1.44%
6M	1.92%	1.90%	1.51%
9M	1.97%	2.03%	1.59%
1Y	2.02%	2.15%	1.77%
3Y	2.34%	2.65%	2.01%
5Y	2.57%	2.97%	
7Y	2.73%	3.14%	
10Y	2.84%	3.31%	

スワップ金利は、前週同様に基準金利と利率債利回りの小幅上昇を受けた上昇が続いている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。